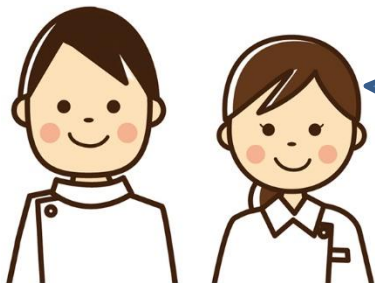


あけましておめでとうございます。平成31年が幕を開けました。亥年ということで、イノシシのように猪突猛進、常に前向きに頑張っていこうと思います。といいながら、今回は2018年の業務改善記録委員会がどのようなことを行い、業務改善に努力してきたかについて一度だけ振り返って紹介したいと思います。



いろいろ工夫して仕事が円滑に進んでいくように今後も頑張ります。業務や仕事で困っていることがあれば、委員会に御連絡ください。重要案件として検討させていただきます(笑)。

- 1月 看護手順 膀胱鏡 作成 →6月に完成
- 2月 外来で行う検査(腹部エコー・心臓エコー・胃カメラ・大腸ファイバー)の依頼書は前日16:00までに外来に提出。月曜日検査分は土曜日の午前中に提出  
その際に部屋番号を確認する→手順の決定
- 3月 検査中止薬剤について →手順の決定
- 4月 水分チェック表 作成 一般・療養病棟統一
- 5月 死後の処置 ペースメーカーの取り扱いについて
- 6月 外出外泊願い 用紙刷新
- 7月 時間外輸血発注の手順書 内容改訂 配布
- 8月 病棟での看取りに関する手引き 完成
- 9月 透析前の抗生剤投与について
- 10月 大腸ファイバーの前処置改訂
- 11月 連絡箋(検査室・放射線科)用紙改訂  
病棟間の転棟チェックリスト改訂(CPRの記入欄追加)
- 12月 平成30年度活動の総括



## 反省と目標



2018年の全体的な達成度は70パーセント

日常業務においての問題点をスタッフからよく聴取し、速やかに議題に挙げ、内容を討議決定したものを周知していくこと。

決定までの流れをスピードアップすることや他部署とどのように関わっていくかで効率を図る。

このような取り組みが、明日の淀井病院を支えています。  
今年も業務改善頑張っていきましょう。

